

KOBELCO



NEW *Kobelion*

KOBELCO SCREW COMPRESSOR

新型コベライアン〈屋外機シリーズ〉

55/75kWラインナップ拡充!

より幅広い省エネニーズにお応えできるようになりました。

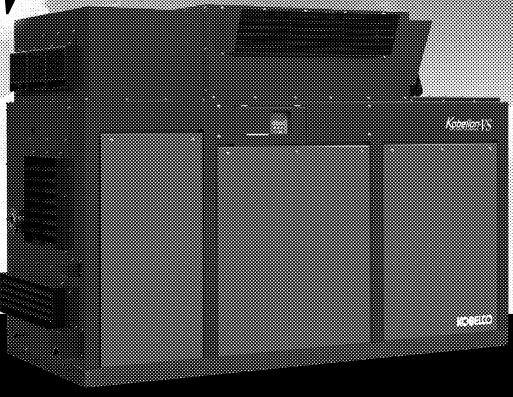
最高レベルの省エネメリットを提供するインバータ機

NEW

インバータ

e-STOP

周囲温度45℃耐久



出力

22~75kW

吐出空気量
(0.95~0.6MPa仕様)

3.55~14.0m³/min

優れた省エネ性とシンプル操作を両立

NEW

SG

SG

SG

出力

22~75kW

吐出空気量
(0.95~0.7MPa仕様)

3.95~13.05m³/min

コベルコ・コンプレッサ株式会社

神戸製鋼 機械事業部門

コベルコ・コンプレッサ

検索

<http://www.kobelco-comp.co.jp>

市場ニーズに応え産業分野で

屋外での使用を実現

これまでモーターを搭載したコンプレッサは工場内部に設置して使用することを前提にした仕様であった。当社ではいち早くこの固定概念を打ち破り、屋外に設置して使える「コンプレッサ」を市場に投入している。これは屋外設置を可能とすることでコンプレッサ室や、その部屋の換気扇も不要となり設備費用だけでなく稼働に伴う換気扇などの電力も必要なくなる。また、工場内の設置スペースが不要といったことで、空いたスペースに新たな設備導入をすることができるよう。用途を広げられるメリットは大きい。コンプレッサ自身も屋外での稼働により比較的清潔な空気を吸引できたり、周囲温度も低い環境での稼働となるため性能・寿命も向上するという効果も見逃せない（写真2）。

夏場の高温・環境下への対応

従来多くのユーザーが抱えている問題として夏場のオーバーヒートがある。これまで高温環境下での稼働のネックとなっていたドライヤーの性能を向上させるためプレート式熱交換器の採用、大型化などを図るとともに、冷却風の流れを冷却効果の面から見直した3ボツクス化することで周囲温度50℃での運転が可能とし、ユーザーが抱えていた問題を解決した製品としている。

極めて静かな運転音

工場周辺への騒音に関する心配も出てくるが、新しいモデルではキャンピ

ユーザー共通の課題への取り組み

①分散設置と集中設置
コンプレッサを使用する上でユーザー共通の課題への取り組みを紹介する。
(1)分散設置と集中設置
空気圧縮機の設置方法の代表的なものとして分散設置と集中設置とがある。分散設置には配管方法により分散配管連結設置と分散単独設置に分けられ、それぞれ長所・短所がある。それらを十分に理解した上で設置方式を決定する必要がある。
②集中配置
配管をルーパー状にしつつ、空気圧縮機を集中配置する。この場合、空気圧縮機から末端まで距離があり圧力損失が大きくなるため、空気圧縮機の設定圧力を高くする必要がある。省電力面からは不利である。（次ページに続く）

IPMモーター

ASローター

図1 ビルトイン直結構造

図2 インバーター仕様モデル動力低減効果

写真2 屋外設置例

環境に配慮したオイルフュエンスを標準装備

先駆の技術

—待望の 7.5kW を実現—

オイルフリースクロールコンプレッサ

Fシリーズ

近日発売

アネスト岩田株式会社

<http://www.anest-iwata.co.jp>

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町 3176

ANEST IWATA

SCROLL COMPRESSOR F-series

CLASS ZERO OILFREE

TEL (045) 591-1122 FAX (045) 593-0524

詳しくは

アネスト岩田

検索